

=====

1. 主要指数
2. 大引け概況
3. 材料株の動き
4. ニュース・フラッシュ

【主要指数】

ハンセン指数 20564.17 -142.75 -0.69%
H 株指数 8534.79 -66.20 -0.77%
レッドチップ 3579.36 -30.14 -0.84%

売買代金：471 億 9300 万香港ドル（7 日：496 億 8800 万香港ドル）

上海総合指数 2988.09 -28.75 -0.95%
日経平均 15106.98 -169.26 -1.11%
韓国総合指数 1963.10 -10.98 -0.56%
台湾加権指数 休場
ベトナム VN 指数 658.68 -2.44 -0.37%

【大引け概況：香港】

◆8 日の香港マーケットは反落

内外の指標発表を前に買い手控え。結果を見極めたいとするスタンスが様子見ムードを強めさせた。米国では今夜、6 月の米雇用統計が報告される。来週にかけて中国本土でも、6 月の重要経済指標が相次ぎ公表される予定だ（10 日に物価統計、13 日に貿易統計、15 日に鉱工業生産や小売売上高、第 2 四半期 GDP など。15 日までに金融統計）。

ハンセン指数の構成銘柄では、婦人靴小売チェーンの百麗国際 HD（ベル・インターナショナル：1880/HK）が 2.3%安、香港系不動産の恒基兆業地産（ヘンダーソンランド：12/HK）が 2.2%安、石炭の中国神華能源（1088/HK）が 2.1%安と下げが目立った。

中国の保険・証券セクターも売られる。中国人民保険集団(1339/HK)が 1.7%安、中国太平洋保険 (2601/HK) が 1.4%安、華泰証券(HTSC：6886/HK)が 1.5%安、広発証券(1776/HK)が 1.3%安で引けた。

前日に上げの目立っていた通信セクターもさえない。キャリア大手 3 社の中国電信(チャイナ・テレコム：728/HK)が 2.0%、中国聯通(チャイナ・ユニコム：762/HK)が 1.7%、中国

移動(チャイナ・モバイル：941/HK)が1.1%ずつ下落した。

半面、鉄鋼セクターは買われる。鞍鋼(アングン・スチール：347/HK)が2.2%高、重慶鋼鉄(チョンチン・アイアン&スチール：1053/HK)が1.8%高、馬鞍山鋼鉄(323/HK)が1.1%高と値を上げた。鞍鋼が7日引け後、2016年6月中間期の大幅増益を予告するなか、業界全体の業績改善が期待されている。国家発展改革委員会の徐紹史主任が昨日、鉄鋼・石炭業界の過剰生産能力解消を強く指示したことも材料視された。

【大引け概況：本土】

◆8日の中国本土マーケットは値下がり

主要指標の上海総合指数は、前日比28.75ポイント(0.95%)安の2988.09ポイントと続落した。上海A株指数も下落し、30.16ポイント(0.96%)安の3127.85ポイントで引けた。一方、外貨建てB株相場はまちまち。上海B株指数は1.58ポイント(0.45%)安の349.96ポイント、深センB株指数は2.23ポイント(0.20%)高の1116.92ポイントで終了した。

経済指標の発表を前に買い手控え。来週にかけて6月の重要経済指標が相次いで公表されることが気がかり材料だ(10日に物価統計、13日に貿易統計、15日に鉱工業生産や小売売上高、第2四半期GDPなど。15日までに金融統計)。上海総合指数は直近の上昇で、約2カ月半ぶりの高値水準にあるため、戻り売り圧力も意識されている。

業種別では、非鉄や鉄鋼などの素材関連株がさえない。洛陽モリブデン(603993/SH)が4.8%安、宝鋼(600019/SH)が1.6%安で引けた。このところ物色が続いていた産金株も反落。消費関連株や発電株、自動車株、石油や石炭のエネルギー株も売られた。

半面、軍需関連株はしっかり。航空宇宙機器の航天時代電子技術(600879/SH)が3.6%高、レーダーや無線機器の安徽四創電子(600990/SH)が2.3%高で引けた。港湾株も引けにかけて急伸している。

【材料株の動き】

◆スカイワースが4.1%高、6月TV販売の伸び加速で

テレビ生産大手の創維数碼HD(スカイワース・デジタル：751/HK)が急伸。前日比4.12%高の6.32香港ドルで取引を終了した。

足元のTV販売好調で買われる。同社は7日引け後、今年6月の営業実績を発表し、テレビ販売台数が前年同月比57%増の138万5000台に達したと報告した。2カ月連続でプラス成長を示し、伸び率は前月の15%から大幅に加速している。うち中国で22%増の66万7000台、海外で113%増の7万1800台を売り上げた。

期初の4月からの3カ月間累計では、テレビ販売台数が前年同期比20%増の354万6000台。うち中国が4%増の193万7000台、海外が48%増の160万9000台で推移している。17年3月期の年間販売台数は1700万台を目標とする。前年実績の1444万6000台を17.7%

上回る水準に設定した。エリア別の内訳は、中国が 1100 万台（前年比↑9.6%）、海外が 600 万台（同↑36.1%）。

◆鞍鋼が 2.2%高、中間期の大幅増益見通しで

鉄鋼メーカーの鞍鋼（アングン・スチール：347/HK）が逆行高。前日比 2.22%高の 3.72 香港ドルで取引を終了した。

業績期待が強まる。同社は 7 日引け後、2016 年 6 月中間期の業績改善を予告し、純利益が前年同期比 93.55%増の 3 億人民元（約 45 億円）に達するとの見通しを示した。経営努力が実る。鋼材市場で競争が激化するなか、同社は販売の強化や製品構成の見直しを進め、鋼材価格の下落によるマイナス影響をカバーした。併せて、調達コストの低減にも努めている。

【ニュース・フラッシュ】

《企業情報》ホテル運営のシャングリラが業績警告、中間期は赤転の可能性も

シャングリラ・ホテルを運営する香格里拉（シャングリラ・アジア：69/HK）は 7 日引け後、2016 年 6 月中間期の業績悪化を警告し、純利益が前年同期比で大幅に減少するとの見通しを示した。赤字転落の可能性もあるという。マイナスの特殊要因が響く。投資用不動産の再評価益が大きく目減りしたほか、ホテル不動産に絡む減損引当金の増加が痛手となる見通し。

前年同期の純利益は 9840 万米ドル（約 99 億 2000 万円）、非経常項目を除いた実質利益は 4010 万米ドルだった。

同社株は本日、前日比 1.15%安の 7.73 香港ドルで取引を終了した。

《企業情報》広州汽車の 5 月販売は 3 割増の 13.68 万台、6 カ月連続プラス成長

自動車生産で国内 6 位グループの広州汽車集団（2238/HK）は 7 日引け後、今年 6 月の営業実績を発表し、新車販売台数が前年同月比 27.3%増の 13 万 6776 台に伸びたと報告した。プラス成長は 6 カ月連続。増加率は前月の 18.6%から 8.7 ポイント加速している。生産台数は 18.5%増の 13 万 3695 台に拡大した。

1～6 月の累計では、販売台数が前年同期比 28.7%増の 73 万 1884 台。生産台数は 29.6%増の 74 万 3975 台で推移した。

車種別の累計販売台数は、乗用車が 29.6%増の 73 万 367 台。うちセダンは 5.1%減の 36 万 6698 台に低迷したものの、SUV（スポーツ用多目的車）が 127.2%増の 34 万 3549 台と高い伸びを示した。一方、商用車は 69.9%減の 1517 台に落ち込んでいる。

傘下企業別では、広汽本田（ホンダとの合弁）が 12.0%増の 27 万 3987 台、広汽豊田（トヨタとの合弁）が 7.9%増の 20 万 8752 台と堅調。前年苦戦した広汽菲亚特克莱斯勒（フィアット、クライスラーとの合弁）も、256.2%増の 6 万 1168 台を売り上げた。

同社株は本日、前日比 1.52% 高の 9.30 香港ドルで取引を終了した。

《企業情報》BYD が深センで大口受注 300 億円、EV バス 3800 台納入へ
充電電池・自動車メーカーの比亞迪 (BYD : 1211/HK) は 7 日引け後、深セン市 (広東省) で大口の受注を獲得したと報告した。深セン市西部公共汽車公司に対し、計 3751 台の電気自動車 (EV) バスを納入する。受注額は計 19 億 8800 万人民币元 (約 300 億円) で、業績にプラスの影響をもたらす見込みと説明した。

同社株は本日、前日比 1.51% 高の 47.10 香港ドルで取引を終了した。

《企業情報》万科が再編「プラン B」準備か、ブラックストーン支援案浮上
万科企業 (チャイナ・ヴァンカ : 2202/HK) の経営発言権をめぐる争いがさらに混迷しそうだ。8 日付の最新報道によると、万科は深セン市地鉄集団からの出資受け入れが不成立となった場合の「プラン B」として、米投資会社ブラックストーンの支援を取り付けることを検討しているもよう。ブラックストーンが中国で保有する不動産を 130 億人民币元 (約 1950 億円) で買収する一方、万科株 6% を割り当てるという内容だ。これにより、創業者で董事長の王石氏はブラックストーンという後ろ盾を得て、敵対的買収を仕掛けてきている宝能グループに対抗する考えという。

香港のマネー誌「港股策略王」が 8 日、匿名の人物が香港証券取引所に送った告発文書の内容として報じたもの。これを受けた本土メディアの取材に対し、万科はコメントを差し控えたという。

万科とその大株主の攻防をめぐっては、さまざまな情報が錯綜している状況。7 日の時点では、中国政府系の華潤集団が宝能グループの保有株を買い取り、万科の筆頭株主に返り咲く見通し——との情報が伝わった。この報道によれば、今後新株取得を予定している深セン市地鉄集団も宝能グループの保有株を一部譲り受け、2 位株主となる予定。このため、不動産デベロッパー中国大手の万科は、国有資本が過半数を占める国有持株企業に転身する。王董事長は取締役会の名誉主席へ昇格し、実質引退する運びと伝わっている。

民営コングロマリットの宝能グループによる敵対的買収を受け、万科の A 株は昨年 12 月 18 日から売買を停止していたが、今週 4 日に売買を再開。これを受けて宝能グループは早速、A 株を追加取得し、出資比率を 25.00% まで引き上げている。2 位株主の華潤集団は現在、万科株 15.24% を保有。一方、深セン市地鉄集団は万科に資産を譲渡する対価として、新株 28 億 7235 万株を引き受ける予定だ。取引完了後には出資比率 20.65% の筆頭株主に浮上する見通し。

万科企業株は本日、前日比 1.52% 高の 16.08 香港ドルで取引を終了した。

《企業情報》中国：自動運転車を商用化、北京汽車が観光地「紅海灘」に投入
自動運転車の実用化に向けた動きが中国でも進んでいる。自動車大手の北京汽車集団は遼

寧省盤綿市大窪区に位置する観光名所、「紅海灘風景区」内で自動運転車を走らせるプロジェクトを推進する計画を固めた。同社の自動運転車開発事業が商用化段階に入ったことを意味する。鳳凰汽車が7日付で伝えた。

北京汽車集団新技術研究院と大窪区人民政府は6日、自動運転車に関する戦略事業提携を結ぶ契約書に署名。「紅海灘風景区」を訪れる観光客向けに、自動運転車を周遊させるプロジェクトを共同で立ち上げることを確認した。

合意書によると、早ければ今年9月にも第1期エリアを完成させる。運営を開始する予定。プロジェクトの運営主体となる新会社を双方の共同出資で設立し、各種手続きを進める運びだ。

風景区内に専用レーンを設け、歩行者との衝突を回避。車車間(V2V)/路車間(V2I)などの各種通信システムも活用し、安全でスムーズな車両走行を実現させる。

北京汽車集団は第13次5カ年計画(2016~20年)の4大事業戦略の一つに「スマート化」を掲げた。自動運転車の開発はその重要なテーマだ。今回の取り組みは、同社の自動運転技術開発における商用化への第一歩として受け止められている。

《政策》中国：豪雨被害で「スポンジ都市」加速、投資需要は数兆元

記録的な豪雨による水害が各地で伝えられるなか、中国の各地方政府は「海綿都市」(スポンジ都市)の構築プロジェクトをさらに加速させる必要が出てきた。雨水などを吸収する“減災都市”の実現には、1平方キロ当たり1億~1億5000万人民元(約15億~22億6000万円)の費用を要する。中国各地で展開すれば、整備費は数兆元規模に膨らむ見通しという。毎日経済新聞が8日に伝えた。

中央政府は都市機能のグレードアップを奨励する立場。国務院の弁公庁(事務局)は2015年10月16日に、「海綿都市」構築に向けたロードマップが明記された指導意見を発表した。それによると、2020年までに都市部面積の20%以上を海綿都市にしなければならない。全国658都市で整備を進める。都市化が生態環境に及ぼす悪影響を最低限に軽減する狙い。雨水の70%を吸収、再利用するよう各都市に求めた。また、30年までに同80%以上を海綿都市にするとの目標を打ち出している。

「海綿都市」を推進する試行都市の第1弾リストとして、すでに昨年時点で中国政府は遷安、白城、鎮江、嘉興、池州、アモイ、萍郷、済南、鶴壁、武漢、常德、南寧、重慶、遂寧、貴安新区、西咸新区の16エリアを選定した。今年3月には、第2弾リストを公表。北京、天津、大連、福州、珠海、寧波、玉溪、深セン、上海、慶陽、西寧、三亜、青島、固原、盤錦、フフホト、運城を加えた。

多くの都市は、向こう3~5年かけて実現を目指す。各都市の費用は数百億人民元に上る。うち武漢や深センは、「海綿都市」計画を策定。武漢は今年3月、青山と漢陽をモデル地域に選定したうえで、向こう3年以内に整備を終える目標を打ち出した。深センは市内24エリアで推進。総面積254.6平方キロの範囲で「海綿都市」を構築する計画を発表した。

1 平方キロ当たりの整備費を 1 億～1 億 5000 万人民币元と仮定した場合、保守的な試算でも 2016～20 年にかけて 1 兆 9000 億人民币元が必要。2016～30 年の累計では、7 兆 6000 億人民币元に上る見込みだ。

ただ、政府の予算は乏しい。中央政府の補助額は、年間 4 億～6 億人民币元に過ぎない。多数の都市は、投資プラットフォームの資金を利用した整備計画を練っているものの、資金不足が明白で、今後は PPP（官民パートナーシップ）プロジェクトとして推進していく動きが広がりそうだ。

《統計》中国：上場企業の間接決算予想は 7 割「改善」、TMT 業界が好調

中国本土マーケットでは今月中旬から、2016 年 6 月中間期の決算発表がスタートする。これに先立ち、今月 7 日までに上場企業 1069 社が決算予想を発表した。うち増益や黒字転換など「業績改善」企業が 751 社を数え、全体の 7 割に達している。業種別では、新興産業のテクノロジー・メディア・通信（TMT）が好調で、業績改善企業の約 2 割に当たる 135 社を占めた。中国証券報が 8 日伝えた。

業績改善予想を発表した TMT 関連企業には、パソコンや電子機器のメーカーに加えて、インターネットサービス、IT サービス、テレビ放送、映画製作などを手がける企業が含まれる。前述した 135 社のうち、増益率 100%超の上場企業は 31 社に上った。中国政府の「インターネット+（プラス）」戦略などを追い風に需要が伸びていることに加え、企業の合併・買収（M&A）が活発な業界であることも業績の拡大につながったと指摘されている。

従来型産業では、鉄鋼業界の業績改善が目立つ。鋼材価格の上昇が追い風で、馬鞍山鋼鉄（600808/SH）など複数企業が純損益の黒字転換を予想した。

半面、1069 社のうち 3 割に相当する 318 社が減益、赤字継続・転落など「業績不振」を予想。業種別では、化学、繊維・アパレル、建材などに集中している。

《統計》中国：旅行・観光向け固定資産投資が 3 割増、上半期 6.34 兆円に拡大

旅行・観光向け固定資産投資が中国で急ピッチに伸びている。今年上半期の累計では、実行ベースで前年同期比 30.5%増の 4211 億 5000 万人民币元（約 6 兆 3400 億円）に膨らんだ。

全国で 9944 件のプロジェクトが進行している。国家旅游局が 6 日に報告した。

投資プロジェクトの大規模化が進む。100 億人民币元以上の案件数は 206 件。これらの投資実行額は、34.4%増の 794 億 6000 万人民币元に拡大した。

西部エリアの投資活発化も目立つ。前年同期比 56.0%増の 1132 億 8000 万人民币元に達し、地域別投資額で全体の 26.9%を占めた。うち四川省、貴州省、重慶市、陝西省の 4 エリアでは、100 億人民币元の大台をそろって超えている。東部の伸びも持続。332.2%増の 2277 億 8000 万人民币元に上った。全体の 54.1%を占めている。

《統計》英不動産市況の悪化に懸念、中国・香港企業にもマイナス影響

英国の商業用不動産ファンドが相次いで解約を停止している。英国の国民投票で欧州連合（EU）離脱派が多数を占めたことを受け、不動産市況悪化を懸念する投資家が資金を引き揚げようと解約請求が急増したため。一部専門家の間では、ロンドンの商業不動産価格が向こう1年で約10%下落するとの予測も示されている。ポンド安の進行にも歯止めがかからないなか、英国に不動産を保有する中国・香港企業もマイナス影響を受けるとの懸念が強まり始めた。

特に中国人寿保険（2628/HK）や中国平安保険（2318/HK）といった保険会社は近年、英国での不動産投資を積極的に進めてきた経緯がある。例えば平安保険は2013年に、英保険組合ロイズ・オブ・ロンドンの本社ビル「ロイズビル」を2億6000万ポンド（約338億6100万円）で買収。15年には、ロンドン金融街のランドマークの一つ「タワープレース」を3億2700万ポンドで手に入れた。

香港企業でも、長江実業地産（1113/HK）がロンドンで不動産開発を手がけるなど、英国に投資しているデベロッパーが多い。例えば華人置業（127/HK）は15年末の時点で、英国に評価額3億515万ポンドの投資用不動産を保有している。

仮に英国のEU離脱が確定した場合、一部の金融機関や企業が欧州拠点をロンドンから移転する可能性が指摘されており、ポンド安と相まってロンドンの不動産価格を押し下げる圧力になるとみられている。

★7日のメルマガ「招財」 ☆彡 ☆彡 ☆彡

●銘柄ピックアップ

吉利汽車：6月新車販売が4割増と好調、株価は年初来高値を更新

●現地ホット情報

- 1)宝能グループが連日で万科A株買い増し、出資比率25.00%に
- 2)TCL集団と韓国サムスンがトップ会談、LCDパネル工場買収の可能性
- 3)長江流域豪雨でレノボ武漢工場にも影響、一部スマホ供給停滞へ

★図表や写真でビジュアル解説満載！詳しい銘柄分析は「招財」でお届けしております。

お問い合わせはこちら <http://www.ashuir.com/m-maga/>

☆

編集・発行 亜州IR株式会社

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町4-6

電話 03-5643-1667 F A X 03-5643-0692 ウェブサイト WWW.ASHUIR.COM

著作権所有 無断転送・転載を禁じます。